

定期作況報告

平成 12年 6月
(6月 20日現在)

北海道立北見農業試験場

1 . 気象経過

5月下旬：最高気温、最低気温、平均気温はいずれも平年より極めて高かった。降水量は平年並であった（平年比69％）。日照時間は平年並であった（平年比100％）。

6月上旬：最高気温は平年に比べて極めて低く、最低気温は平年並で、平均気温は低かった。降水量は平年並であった（平年比163％）。日照時間は平年より極めて少なかった（平年比14％）。

6月中旬：最高気温は平年に比べて極めて高く、最低気温は平年並で、平均気温は高かった。降水量はやや少なかった（平年比55％）。日照時間は平年より極めて多かった（平年比163％）。

以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は、気温と日照時間の変動が大きかったが、やや高温で、降水量、日照時間はほぼ平年並であった。

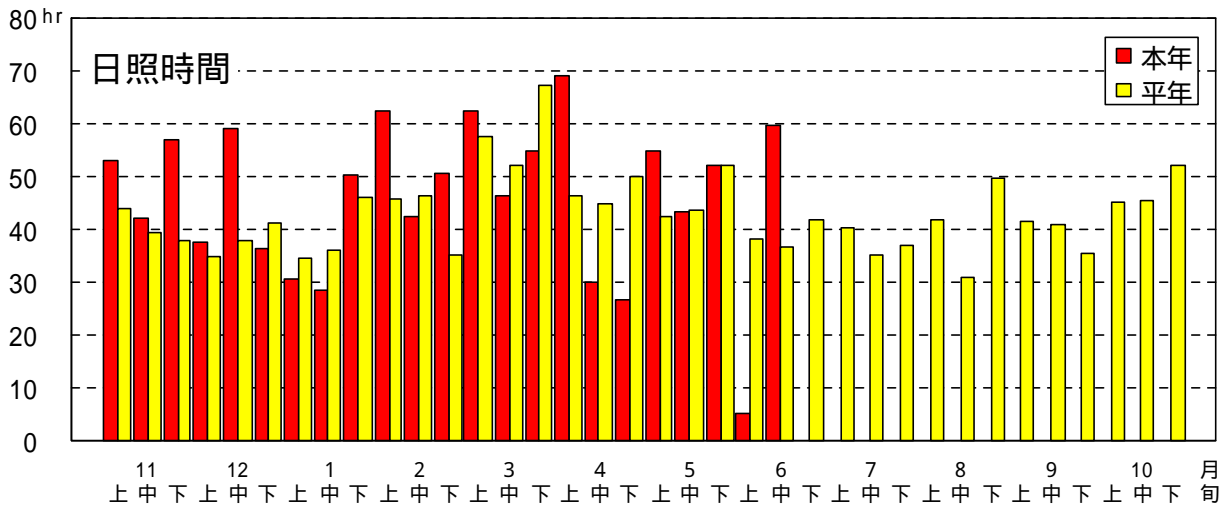
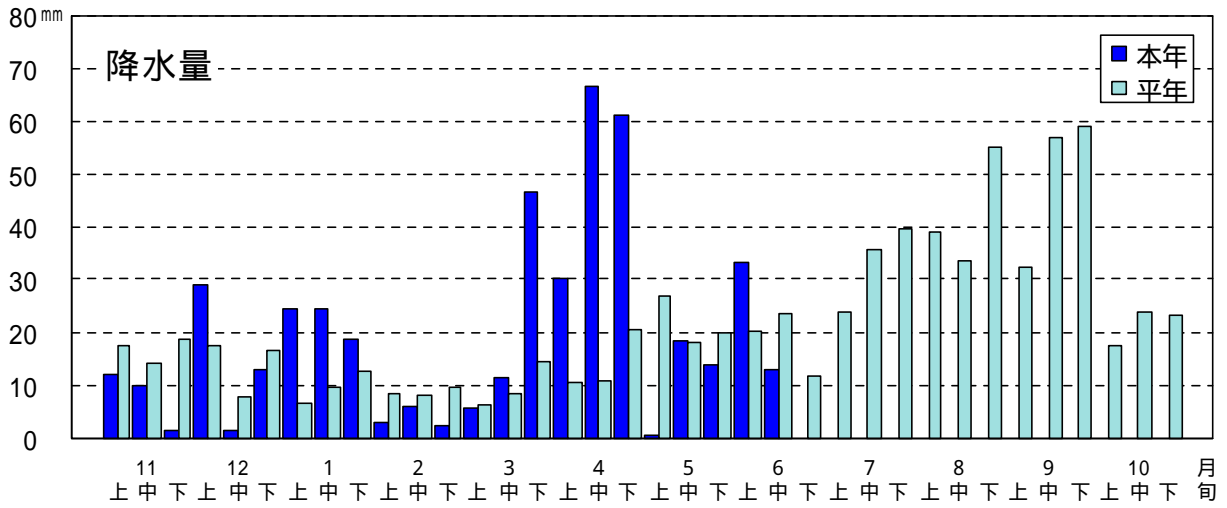
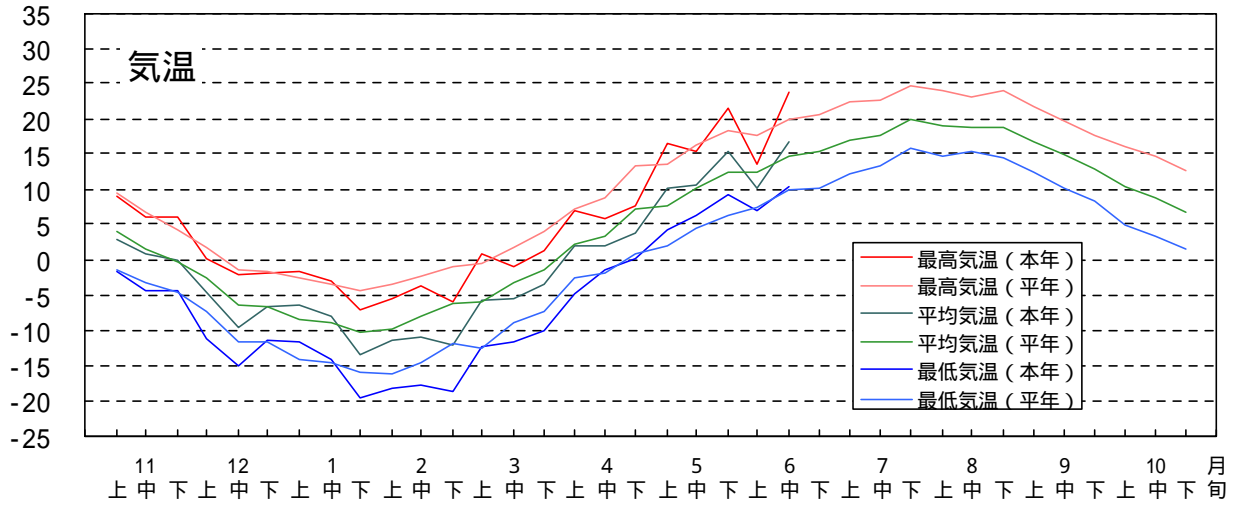
気象表

項目 月旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	15.3	12.4	2.9	21.5	18.4	3.1	9.4	6.2	3.2
6月上旬	10.2	12.5	2.3	13.6	17.8	4.2	7.0	7.5	0.5
6月中旬	16.9	14.6	2.3	23.6	19.9	3.7	10.4	10.0	0.4
平均	14.1	13.2	0.9	19.6	18.7	0.9	8.9	7.9	1.0

項目 月旬	降水量（mm）			日照時間（h）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	14.0	20.2	6.2	52.1	52.0	0.1
6月上旬	33.5	20.5	13.0	5.3	38.2	32.9
6月中旬	13.0	23.5	10.5	59.5	36.6	22.9
合計	60.5	64.2	3.7	116.9	126.8	9.9

注) 1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。

2) 平年値は前10か年間の平均である。



2 . 当場の作況

1) 秋播小麦

作況：やや良

事由：平均気温は、平年に比べて6月上旬は低かったが、5月下旬、6月中旬は高く、春先の低温による生育の遅れはやや回復し、出穂期はほぼ2日遅れであった。草丈はホクシンを除き平年を上回っており、5月中旬からの降水量はほぼ平年並であったが降水日数はやや多く、生育はやや軟弱気味であるが茎数はいずれの品種も平年よりやや多い。

以上のことから目下の作況はやや良である。

品種名	出穂期(月・日)			草丈(cm)			茎数(本/㎡)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
タクネコムギ	6.8	6.7	1	110.5	103.4	7.1	1010	878	132
ホクシン	6.13	6.11	2	94.6	95.5	0.9	859	761	98
チホクコムギ	6.18	6.15	3	91.6	90.5	1.1	870	779	91
ホロシリコムギ	6.17	6.15	2	101.8	98.7	3.1	814	785	29

注) 平年値は前7か年中、「タクネコムギ」は平成6年、8年、「ホロシリコムギ」、「チホクコムギ」は平成5年、8年を除く5か年の平均。ただし、「ホクシン」は平成8年、10年を除く3か年の平均。「ホクシン」の播種量は255粒/㎡、その他の品種の播種量は340粒/㎡。

2) 春播大麦(二条大麦)

作況：やや不良

事由：6月中旬の気温は平年より高く、降水量は平年よりやや少ない。このため、草丈はやや短く、葉先が一部黄化している。また、分けつの無効化が進んでいるため、茎数は平年よりやや少ない。

以上のことから目下の作況はやや不良である。

品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			茎数(本/㎡)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
りょうふう	39	44	5	7.1	7.2	0.1	998	1058	60

注) 平年値は前7か年中、平成5、7年を除く5か年平均。

3) 春播小麦

作況：平年並

事由：播種が遅れたことから生育はやや遅れており、草丈は平年をやや下回っているが、5月下旬、6月中旬の気温は平年より高く、比較的降雨もあったことから茎数は平年よりやや多い。

以上のことから目下の作況は平年並である。

品種名	出芽期(月・日)			草丈(cm)			茎数(本/㎡)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	5.17	5.12	5	56.1	59.9	3.8	834	792	42

注) 平年値は前7か年中、5年、9年を除く5か年の平均。

4)とうもろこし

作況：平年並

事由：播種期は平年より2日早く、出芽期は平年より5日早かった。草丈は平年より高いが出葉数がやや少なく、6月上旬の低温と日照不足の影響で、やや徒長していると思われる。

以上のことから目下の作況は平年並である。

品種名	播種期(月・日)			出芽期(月・日)			草丈(cm)			出葉数(枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ワセホマレ	5.19	5.21	2	5.28	6.2	5	28.3	22.7	5.6	3.4	4.0	0.6
ダイハイゲン	5.19	5.21	2	5.28	6.2	5	28.8	24.5	4.3	3.4	4.0	0.6

注) 平年値は前7か年中、平成5年と平成9年を除く5か年の平均。

5)大豆

作況：不良

事由：5月24日に播種を行ったが、播種直後に試験場周辺を中心に局地的な豪雨があり、試験圃場全体が冠水したため、試験の継続を断念した。このため新たに試験圃を設置して、平年より9日遅い5月31日に再度播種を行った。播種後の6月上旬は平年より低温、中旬は平年より高温に推移したため、出芽期までの日数は平年並に要し、主茎長・本葉数は平年を下回っている。

以上のことから目下の作況は不良である。

6)小豆

作況：不良

事由：播種を予定していた5月25日の前日に試験場周辺を中心に局地的な豪雨があり、試験圃場全体が冠水したため播種を断念した。このため新たに試験圃を設置して、平年より8日遅い5月31日に播種を行った。播種後の6月上旬は平年より低温、中旬は平年より高温に推移したため、出芽期までの日数は平年並に要し、主茎長・本葉数は平年を下回っている。

以上のことから目下の作況は不良である。

7)菜豆

作況：不良

事由：播種を予定していた5月25日の前日に試験場周辺を中心に局地的な豪雨があり、試験圃場全体が冠水したため播種を断念した。このため新たに試験圃を設置して、平年より9日遅い5月31日に播種を行った。播種後の6月上旬は平年より低温であったが、中旬は平年より高温であったため、出芽は一斉に進み、出芽期までに要する日数は平年より2～3日短かった。しかし播種の遅れは回復せず、草丈・本葉数は平年を下回っている。

以上のことから目下の作況は不良である。

種類	品種名	播種期(月・日)			出芽期(月・日)			主茎長・草丈(cm)			本葉数(枚)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
大豆	キタムスメ	5.31	5.22	9	6.15	6.6	9	4.9	6.0	1.1	0.1	0.5	0.4
	トヨコマチ	5.31	5.22	9	6.15	6.6	9	6.3	7.1	0.8	0.1	0.5	0.4
小豆	エリモシヨウズ	5.31	5.23	8	6.18	6.10	8	1.9	3.0	1.1	0	0.4	0.4
	サホロシヨウズ	5.31	5.23	8	6.18	6.10	8	1.9	3.0	1.1	0	0.4	0.4
菜豆	大正金時	5.31	5.22	9	6.16	6.10	6	6.5	8.3	1.8	0.1	0.4	0.3
	姫手亡	5.31	5.22	9	6.15	6.8	7	5.0	5.6	0.6	0.1	0.6	0.5
	雪手亡	5.31	5.22	9	6.15	6.8	7	5.0	5.6	0.6	0.1	0.6	0.5

注) 平年値は前7か年中、大豆は平成5年と11年、小豆は平成5年と9年を除く5か年の平均。
菜豆は前8か年中、平成6年と8年および再播した10年を除く5か年の平均。

8) ばれいしょ

作況：やや良

事由：植付けは平年より4日早い5月10日に行った。萌芽期は「男爵薯」が平年より3日、「紅丸」は2日早かった。萌芽後の生育は6月上旬の低温と日照不足によりやや停滞していたが、6月中旬が高温、多照であったため、茎長は両品種とも平年を上回った。

以上のことから目下の作況はやや良である。

品種名	植付期(月・日)			萌芽期(月・日)			茎長(cm)			茎数(本)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	5.10	5.14	4	5.31	6.3	3	18.3	12.8	5.5	3.5	3.5	0.0
紅丸	5.10	5.14	4	5.30	6.1	2	18.1	13.9	4.2	3.8	3.6	0.2

注) 平年値は前7か年中、「男爵薯」「紅丸」とも平成6年と9年を除く5か年の平均。

9) てんさい

作況：やや良

事由：5月下旬、6月中旬の気温は高く、日照時間も6月上旬以外は平年並以上に推移したため、移植ならびに出芽後の生育は順調である。

以上のことから目下の作況はやや良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	31.9	21.4	10.5	13.1	11.7	1.4
	ストーク	35.8	21.6	14.2	13.0	11.2	1.8
直播	モノホマレ	16.4	11.8	4.6	9.0	6.1	2.9

注) 平年値は前7か年中、移植栽培の「ストーク」は平成7、10年を除く5か年の平均、移植栽培の「モノホマレ」は平成7、10年を除く5か年の平均、直播栽培は平成5、10年を除く5か年の平均。

10) 牧 草

作況：不良

事由：オーチャードグラス混播・単播草地の出穂始及び出穂期は平年より4～8日早かった。シロクローバは刈取時までには開花始に達しなかった。同草地の1番草は、草丈が平年より高く、マメ科率が平年よりやや高く、乾物率が混播草地でほぼ平年並で、単播草地で平年よりやや高く、乾物収量は混播草地で平年より高く、単播草地で平年より低かった。またチモシー混播・単播草地の1番草は、草丈がチモシーで平年並かやや低く、アカクローバで平年より高く、マメ科率が平年より高く、乾物率が平年並か平年よりやや低く、乾物収量が平年より低かった。オーチャードグラス混播・単播両草地及びチモシー混播・単播両草地の1番草の乾物収量の合計の平年比は90%であった。

以上のことから目下の作況は不良である。

オーチャードグラス混播・単播草地1番草出穂開花調査結果

草種 草 地	オーチャードグラス						シロクローバ		
	出穂始			出穂期			開花始		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
混播	5.26	6.2	7	5.29	6.6	8	未	-	-
単播	5.29	6.2	4	6.2	6.7	5	-	-	-

同草地1番草調査結果(6月5日刈取り)

草 地	草 種	草丈(cm)			マメ科率(%)			乾物率(%)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
混播	オーチャードグラス	91	79	12	24.0	25.5	1.5	13.9	14.1	0.2
	シロクローバ	44	41	3	-	-	-	-	-	-
単播	オーチャードグラス	76	73	3	-	-	-	18.6	17.6	1.0

同草地1番草収量調査結果(6月5日刈取り)

草 地	番 草	生草収量(kg/10a)				乾物収量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	対平 年比 (%)	本年	平年	比較	対平 年比 (%)
混播	1番草	2284	2043	241	112	313	290	23	108
単播	1番草	861	1120	259	77	159	193	34	82

チモシー混播・単播草地1番草調査結果(6月19日刈取り)

草 地	草 種	草丈(cm)			マメ科率(%)			乾物率(%)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
混播	チモシー	96	100	4	60.3	52.4	7.9	15.0	15.5	0.5
	アカクローバ	86	75	11	-	-	-	-	-	-
単播	チモシー	96	95	1	-	-	-	21.4	22.3	0.9

同草地 1 番草収量調査結果 (6 月 19 日刈取り)

草地	番草	生草収量 (kg/10a)				乾物収量 (kg/10a)			
		本年	平年	比較	対平年比 (%)	本年	平年	比較	対平年比 (%)
混播	1 番草	3689	3857	168	96	553	589	36	94
単播	1 番草	1481	1909	428	78	317	419	102	76

- 注) 1. 各草種の品種はオーチャードグラスが「キタミドリ」、シロクローバが「カリフォルニアラジノ」、チモシーが「ノサップ」、アカクローバが「サッポロ」である。
2. 混播草地の乾物率は、イネ科・マメ科を併せた全体についてのものである。
3. 平年値は平成 5 年から平成 11 年までの前 7 か年のうち、オーチャードグラス・シロクローバ混播草地は平成 9 年と平成 10 年を、他の 3 草地は平成 7 年と平成 11 年を除く 5 年間の平均である。

1 1) たまねぎ

作況：やや良

事由：6 月上旬には、低温・寡照により生育はやや遅れた。しかし、6 月上旬に十分な降水があり、中旬は平均気温・日照時間とも平年を大きく上回ったため、生育が急速に進み、6 月 5 日から 20 日の間に草丈が 8 ~ 10cm も伸長した。草丈では、過去 7 年間では、初期生育の著しかった平成 7 年について高く、葉数も平年より 3 割ほど多いが、葉鞘径はほぼ平年並である。

以上のことから目下の作況はやや良である。

品種名	草丈 (cm)			葉数 (枚)			葉鞘径 (mm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
スーパー北もみじ	27.4	28.3	0.9	5.8	4.3	1.5	6.6	7.5	0.9
北もみじ	27.7	24.7	3.0	6.0	4.5	1.5	7.1	7.0	0.1
改良オホーツク 1 号	32.7	31.6	1.1	6.2	4.7	1.5	7.6	8.5	0.9

注) 平年値は、「スーパー北もみじ」が平成 7 ~ 11 年、「北もみじ」が平成 6、8 ~ 11 年、「改良オホーツク 1 号」が平成 4、7 ~ 9、11 年のそれぞれ 5 か年の平均。平成 7 年を除いた 4 か年の草丈および葉鞘径の平均は、「スーパー北もみじ」が 22.9cm、6.4mm、「改良オホーツク 1 号」が 25.9cm、7.4mm。